



子ども達への水辺の安全教育プログラムの推進

【2024年度事業目的】

子ども達が積極的に海に関わる上で、自らの安全を確保できる学習内容を確立し、水辺に関わる全ての人々が支えあう「事故ゼロ」の社会をめざす。そのために、1) 子ども達への活動支援を通じて、自他の生命を大切にする心身を育み、2) 誰もがライフセーバーである水辺の文化を創る。

< 中長期 >

上記展開を図る上で、30都道府県ライフセービング協会、全国149クラブによる教育実践は重要である。各学齢における指導内容等の構築を行い、学校や社会教育施設へ展開する。指導員養成を促進し、広く国民に向けたサポーター講習を通じて、自助・共助の意識を高めていく。



【2024年度事業目標】

1. 子ども達の海との接点や活動支援を通じて、自他の生命を大切に作る心身を育む

- (1) ジュニア・ライフセービング（以下Jr.LS）における年間を通じた海辺での活動支援を推進していく。器材支援や指導員派遣を通じ、e-Lifesaving（以下e-LS）を活用したプログラム提案等を行っていく。指導員によるレポート、現地調査により成果測定を行う。
- (2) 指導者の連携、共有を図り、課題解決等を話し合う場を開催。参加者アンケートや議論の内容から見えてきた課題により成果測定を行う。
- (3) 社会教育施設（青少年教育施設等）と連携し、海やライフセービングと親しみのない層へも、ウォーターセーフティプログラム（以下WSP）を中心とした体験的学びを展開する。参加者や引率者アンケートを通して成果測定を行う。
- (4) Jr.LS活動の実態を調査し、結果から新たな課題を設定することを中長期成果測定とする。
「水辺の接点創出」と「安全への知識と技能を学び合える環境創出」の観点から、以下を事業目標とした。

2. 誰もがライフセーバーである水辺の文化を創る

- (1) 過去2年間、e-LSの実践研究を通じてICT教材としての有効性を立証した。引き続きコンテンツの拡充とPDCAを実行することで成果測定（延べ30万ユーザー）とする。
- (2) e-LSの広報を強化し、1人でも多くの国民に対し、水辺における自助の意識と知識、技能という“そなえ”を積極的に広めていく。高度化事業の図られている海水浴場やサポーター講習での対応実績を成果測定とする。
- (3) 全国30か所を候補として指導員養成講習会を展開し、90名の指導員を誕生させる。サポーター講習では年間14,000人の受講者数を目標とする。

【2024年度事業内容】

1. ジュニアライフセービング活動の充実

- (1) 時期：2024年4月～2025年3月
- (2) 場所：全国海水浴場、社会教育施設等
- (3) 対象：349名（小中学生）
都道府県ライフセービング協会、
加盟クラブ等
- (4) 内容：器材支援、専門委員の派遣
指導者研修の実施、実態調査
社会教育施設等でのウォーター
セーフティプログラムの実施

2. eラーニング新規コンテンツの制作と展開

- (1) 時期：2024年4月～2025年3月
- (2) 場所：全国
- (3) 対象：56,028名（小中学生、教員、指導者等）
- (4) 内容：新規動画の制作、
一部コンテンツの英文化
教育実践や教員研修の展開

3. eラーニングシステムの広報啓発の強化

- (1) 啓発動画の制作

4. 指導員養成及びサポーター講習

- (1) 時期：2024年4月～2025年3月
- (2) 場所：全国（東北・関東・関西・九州その他）
- (3) 対象：指導者養成；87名
サポーター；16,641名
- (4) 内容：指導員の養成、及びライフセービングの普及



海での体験活動
『ライフセーバーと海で遊ぼう!』@千葉県



e-Lifesavingを活用した
ウォーターセーフティ教室@兵庫県

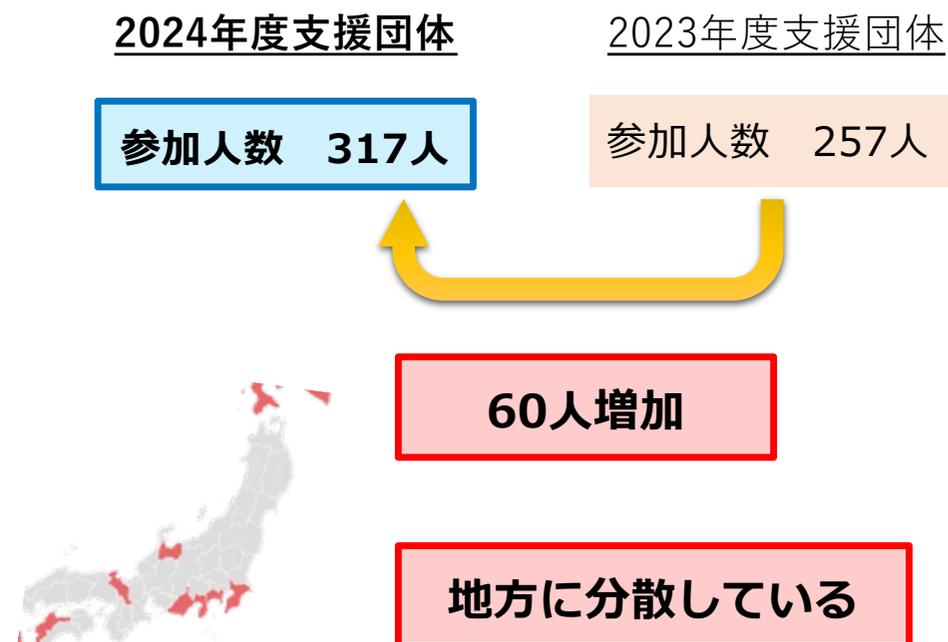
1. ジュニアライフセービング活動の充実

1-①a ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

□ e-Lifesaving、JLAジュニアライフセービングバッジテストを活用したジュニアライフセービング教室の実施
 ⇨「全てのライフセービングクラブでジュニアライフセービングプログラムを！」を目標に、これまでジュニアライフセービング教室を実施する計画を持ちながら、器材やノウハウなどの問題で実施に至らなかったクラブに対して支援をおこなった。

- 公募による都道府県ライフセービング協会、加盟団体への支援
 - ↓ 事業の意図と照らし合わせた公募
 - ↓ 審査委員会を召集、10団体の企画提案書を採択
 - ↓ 企画団体へオンラインと実地による支援及び現地調査
 - ★ 報告書作成と精算

- 採択10団体（順不同）
 - <新規支援 4団体> 参加者合計 98名
 - ・ 愛媛ライフセービングクラブ 13名
 - ・ 屋久島ライフセービングクラブ 32名（2回実施）
 - ・ 滑川ライフセービングクラブ 21名
 - ・ 八重津浜ライフセービングクラブ 32名（2回実施）
 - <通年型支援 6団体> 参加者合計 191名
 - ・ 鴨川ライフセービングクラブ 48名（2回実施）
 - ・ 京都府ライフセービングクラブ 22名（2回実施）
 - ・ 小樽ライフセービングクラブ 31名（2回実施）
 - ・ 大分市ライフセービングクラブ 42名（3回実施）
 - ・ 葉山ライフセービングクラブ 48名（4回実施）
 - ・ 牧之原ライフセービングクラブ 50名（10回実施）



1-①b ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

申請団体名： 滑川ライフセービングクラブ

課題1 本助成事業によるジュニア教室の実施に向けた計画と、事業実施によりどのような成果を狙うのか。(評価項目：各評価項目最大10点、トータル最大30点)

- 1-1) 指導員の確保について(募集や事前研修などの計画、指導者が資格未取得の場合のリーダー講習会実施など)
- 1-2) 参加者や地域の課題を考慮し、対応する狙いやプログラムが掲げられているか
- 1-3) 総合評価

① 本助成事業によるジュニア教室の実施に向けた計画

- 1.) 2021年、2022年に同クラブメンバーでジュニア向けのアクアスロンを富山県魚津市のミラージュランドで行い子供の対応について学んだ。
- 2.) 2023年、2024年で同クラブメンバー3名(小澤・釜倉・保坂)がリーダー資格取得
- 3.) 今回のジュニア教室開催前に地元のジュニアスポーツ指導者にジュニアのスポーツ指導について同クラブメンバーに向けて指導者講習会を実施予定
- 4.) 同クラブメンバーの小学校中学校の教員免許を持つ安藤(アドバンス取得)を同教室の指導者に含める
- 5.) 八重津浜は富山駅から車で10分という近さでありながら、比較的周知されていない。八重津の浜には公園も整備されているがあまり活用されていない。同クラブメンバーは2020年頃からこの八重津浜の海で練習し2023年6月からは週に2回ゴミ拾いとボード練習などを行ってきた。この浜で活動しているうちに多くの富山県民の方にこの海をもっと活用してもらいたいと強く思うようになった。
- 6.) ジュニアのライフセービング教室は同クラブでは初めての開催であるので、リーダー講習会で習得したことを主として子供達にいかにも飽きさせず、楽しく安全に、かつ、海について、命について学べるようにプログラムを作成した
- 7.) 地元のプールの方と相談し同ジュニアプログラムに対して理解してもらい子供達に入ってもらえるよう依頼する。
- 8.) 同教室開催に向け、同クラブでシュミレーションを行う。

別紙②へ

滑川ライフセービングクラブ企画提案書-指導案

JLAの開発教材の活用、資格講習会との連携を評価項目に盛り込み、既存の事業や資源、資格講習会と連携して器材支援を行った。

②事業実施によりどのような成果をねらうか

- 1.) 富山県の子供達に「海で遊ぶ」という楽しさを伝えて、夏の思い出を作る
- 2.) 富山県の子供達に「海の安全」「命の大切さ」について学んでもらう
- 3.) 富山県の子供達に友情・スタッフへの感謝の気持ちを感じてもらおう
- 4.) 同クラブのメンバー達が子供達と触れ合うことでライフセービング活動としての経験を踏む
- 5.) 子供達の保護者に富山県の海の美しさ、海を使った遊びの楽しさ、海の活用、について理解してもらおう

1-①c ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

各団体実施の様子



1-①d ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

メディア



滑川ライフセービングクラブ



水辺の危険や命守る方法学ぶ 伊予市で児童に教室

2024年9月7日 (土) (愛媛新聞)



印刷 保存 文字 小 大



ライフジャケットの着用方法を教わる児童ら

子どもたちに安全に水辺で遊んでもらうための技能を伝える「ジュニアライフセービング教室」が7日、伊予市双海町高岸の双海シーサイド公園であった。地元の小学生と保護者の計12人が、自分の命を守る心構えや方法への理解を深めた。

児童らは、海では防波堤付近で沖に向かって流れる「離岸流」が発生しやすいことや、河口付近は流れが複雑で危険が多いことを講義で学習。続いて海岸に移動し、おおむけに大の字になって浮かぶ方法や、溺れている人にペットボトルを投げ渡して救助する方法も教わった。

ライフジャケットの訓練では、着用すると浮きやすくなることを実感。保温の効果や何かにぶつかった際の衝撃から身を守ることもできると学んだ。翠小学校4年の男子児童(9)は「河口は海と川の水が混じり合う危ない場所だと知った。安全な場所で遊ぶよう気を付けたい」と表情を引き締めた。

教室は日本ライフセービング協会と愛媛ライフセービングクラブが県内で初めて開催。愛媛ライフセービングクラブの山下浩代表(64)は「自分の身は自分で守ると日ごろから考えて行動するきっかけにしてもらいたい」と話した。(杉本賢司)

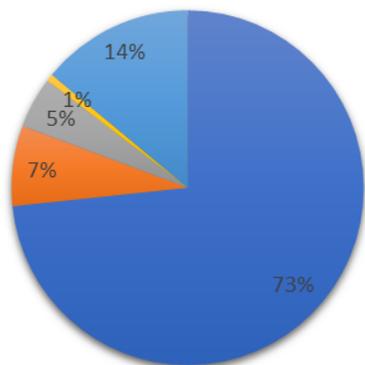
愛媛ライフセービングクラブ

1-①e ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

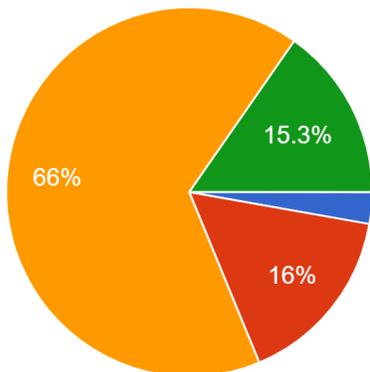
【参加者アンケート結果より】

参加者区分

Q1.あなたは過去におぼれた経験がありますか。



■小学生 ■未就学児 ■中学生 ■高校生 ■保護者



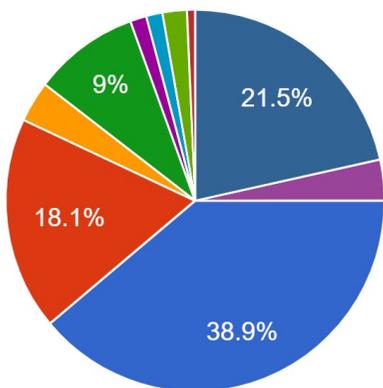
● 2回以上ある
● 1回だけある
● ない
● わからない

実施時期は8～11月。
参加者の多く（73%）は小学生だった。

Q2の回答は、
「事前に必要な情報を収集すること」
「ライフジャケットの正しい着用を理解し、活用できる力を身に付けていること」
「あらかじめ水辺の危険な場所や状況を知っておくこと」

が多かった。

Q2.水辺でおぼれないために一番大切なことはなんでしょうか。



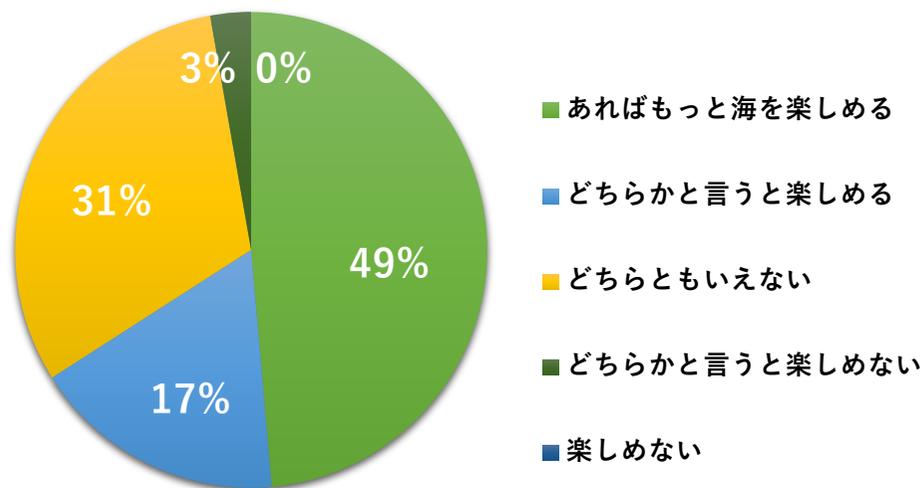
● あらかじめ必要な情報を調べておくこと
● あらかじめ水辺の危険な場所や状況、...
● 手足を使いながら浮いて助かる方法を...
● 背浮きで浮いて助かる方法を身につけ...
● 体力を無くさずに移動して助かる方法...
● 着衣（服を着た状態で）のまま水に落...
● 正しいフォームで泳ぐ力を身につけて...
● はやく泳ぐ力を身につけていること
● 長く泳ぐ力を身につけていること
● ライフジャケットの正しい着方を理解し、活用できる力を身につけていること
● 万が一の時の連絡先や連絡方法を知っていること（118/海上保安庁、119/消防、110/警察）

近年の水辺の事故や水難事故防止の報道から、参加者が未然防止策について学んでいると考えられる。

1-①f ジュニアライフセービング教室及び器材支援事業

【参加者アンケート結果より】

Q3.ウェットスーツがあると海での活動を楽しめると 思いますか。



<自由記述より>

- 毎年、水辺での事故で命を落とすニュースが報道されるので、改めて自分でできる行動をする、知識を身につける事は大切だと思いました。また機会がある際は、参加したいと思います。
- 小学校では着衣水泳の授業が4年生からだったので、今回低学年で参加できて良かった。年に何回か今回の様な教室があると子供達も忘れないと思う。

アンケート結果から、ウェットスーツは夏以外の海（水辺を含む）活動の幅が広がると感じられる。自由記述にある通り、学校での水泳学習の持ち方は様々であるため、学校教育と地域教育が連携していく必要性を改めて感じた。また、低年齢より、水辺の安全について学んでいくことにより、生活に活かせる力をなっていくと考えられる。



1-②a ライフセーバーと海で遊ぼう！ 冬休み in 館山



- ①企画名：『ライフセーバーと海で遊ぼう！』
- ②日時：2023年12月26日～28日
- ③場所：千葉県館山市 大賀海岸 ※宿泊場所 KAKERU UMI CLUB
- ④参加者：小学校3～4年生 24名 / 指導補助：高校生8名
- ⑤ねらい：①冬の海での様々なアクティビティを通じて、夏に限定されない「海」の素晴らしさを体感してもらう
②事故予防と適切な対処行動の観点から、心肺蘇生法やウォーターセーフティの知識や技能を身に付けてもらう
- ⑥内容：

1日目	
9時	東京駅丸ビル前集合（※トイレは済ませて集合）
	宿泊先に到着後開校式
	昼食
13時～15時	○水辺でライフセーバーと遊ぼう！
	・SUP→1班
	・シーカヤック→2班
	・ビーチアクティビティ→3班
	自由時間
18時	夕食
	○心肺蘇生体験
	翌日のオリエンテーション
	自由時間
22時	消灯・就寝

2日目	
6時30分	起床、散歩
7時	朝食
9時～11時	○水辺でライフセーバーと遊ぼう！
	・SUP→3班
	・シーカヤック→1班
	・ビーチアクティビティ→2班
	昼食
	○水辺でライフセーバーと遊ぼう！
13時～15時	・SUP→2班
	・シーカヤック→3班
	・ビーチアクティビティ→1班
	自由時間
18時	夕食
	○レクリエーション
	翌日のオリエンテーション
	自由時間
22時	消灯・就寝

3日目	
6時30分	起床、散歩
7時	朝食 荷物整理
9時	○ENJOY SUP & シーカヤック
	最終日はライフセーバー達と海辺で 思う存分遊んで楽しい思い出作りをしよう！ (アクティビティと写真撮影などを予定)
	昼食
	閉校式 修了証授与
13時30分	宿泊先出発 バス
16時30分	東京駅丸ビル前解散

1-②b ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事前ガイダンスの様子～

- 日時：12月20日（土）
- 場所：成城学園内プール
- 指導：島田インストラクター
- 指導補助：
高校生のリーダー資格を有したライフセーバー 8名
- 内容：
正しいライフジャケットの着方、落水体験、
ライフセービングバックストローク等

“自分の命は自分で守る”ことを基本としたウォーターセーフティを学んだ。海という不確定要素の多い自然環境での活動に向かう前の大切な学びの時間となった。今後もライフセーバーと遊ぶプログラムの心構えとして「自助」あつての体験活動であることをプログラムの軸に位置付けた。





1-②c ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～海での活動の様子～



海での活動は冬でも楽しめる内容にするため、あまり水につからないカヤックとSUPを選択した。また、ウェットスーツは人数分用意し、テントサウナも用意して（強風の為設置は見送った）防寒対策を行った。

初日から強風に見舞われた為、使用する海岸を変更し、安全に活動ができるように風の影響を受けやすいシーカヤックからニッパーボードに内容を変更した。ライフセービングプログラムらしく環境に適用し子どもたちが海での活動を楽しむ様子を見ることができた。

1-②d ライフセーバーと海で遊ぼう！～いのちに向き合う授業の様子～



初日の夜は心肺蘇生法の体験を行った。一次救命処置の重要性をしっかりと理解した後に、3人一組に分かれて、高校生によるサポートのもと、主体的に取り組んでくれた。万が一、身近な人が倒れた時に、自分たちに何ができるのか？を具体的に考え、その時に“行動できる人”になることへの想いを抱いてくれた。

1-②e ライフセーバーと海で遊ぼう！～宿舎での様子～

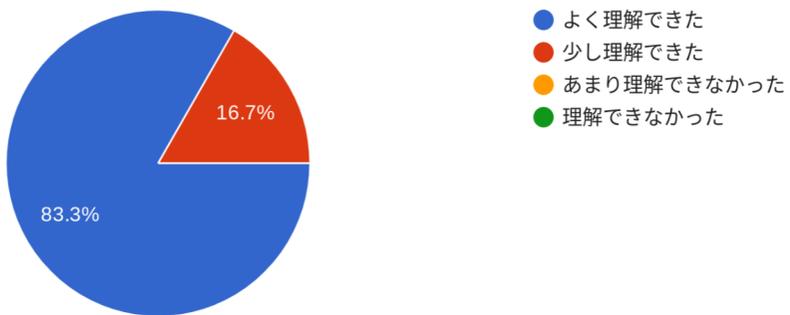


宿舎では自由な時間を多くとる「ゆとり」をあえて設けた。その時間に生まれる高校生との交流や、仲間と語り合いながら貝を磨く時間は大変有意義であった。親元を離れて、多くの人との関わり合いの中で過ごす一つ一つ時間も、「海」が与えてくれたかけがえのない時間であったように感じる。

1-②f ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

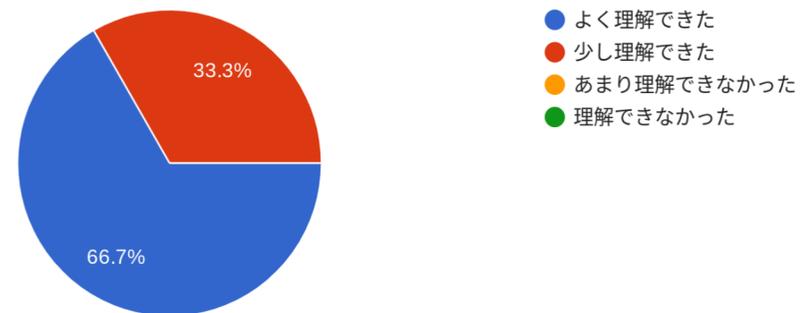
1 事前ガイダンスでライフジャケットの正しい着用の仕方は理解できましたか？

12 件の回答



5 心肺蘇生体験で、胸骨圧迫のやり方は理解できましたか？

12 件の回答





1-②g ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

保護者のアンケートより

- ・3～4年生のみの合宿と言うところが、本人達が伸び伸びと活動ができそうで良いと思いました。
- ・夏がお忙しかったら、春でも夏過ぎでもいいので、もっと行きたいそうです。
- ・また、5年も6年も行きたいそうです。中学にもライフセービング部を作りたいそうです。
- ・ニッパーボードをサンタに頼むくらい好きだそうで、本当にお世話になりました。
- ・大変手厚くみていただきありがとうございました。ご協力いただいた皆様に感謝しております。5.6年生コースもぜひご検討いただければと！
- ・今回、友人の紹介で参加させていただきました。娘にとって一生の思い出になるような貴重な経験となったと思います。娘自身も、冬の海の厳しさ、アクティビティの楽しさ、お友達との生活時間、親元を離れる寂しさ、全てひっくるめて最高だったと話していました。ありがとうございました。
- ・楽しい企画をありがとうございました！
- ・高校生と一緒に海で遊べ、ライフセービングのことを学べたり、とてもいい企画でこの2年楽しませていただきました！来年は5年生になってしまったので、5年生でも参加できる企画があれば嬉しいです！ありがとうございました！
- ・とてもありがたい企画です
- ・よい経験ができました。本当にありがとうございました
- ・とても良い企画でした。ただやはりもう少し気温が穏やかな時期の開催だと、より参加しやすいと思います。貴重な体験をさせていただきありがとうございました！
- ・今後ともこうした貴重な機会を他学年にも展開させていただけたら嬉しいです。この度はご指導いただき、ありがとうございました。
- ・子供もとても充実した経験ができ、また学校の友達とも過ごせたことから大満足しておりました。企画していただき本当にありがとうございました。下の子も3年生になったら参加させてあげたいと思っています。
- ・クラブ以外の、同年代、色々な年代の方と接する事ができ、学ぶことが沢山あった様で、来年も参加したいと言ってます。
- ・普段一年通して海に入っている為、レベル別にもう少しトレーニング的なものがあたら嬉しいと思いました。
- ・海が苦手な状況で島田先生を始め、皆様に大変にお世話になりました。
- ・貴重な体験に参加させていただきまして感謝申し上げます。
- ・5.6年生でもこのような体験プログラムを希望いたします。



1-②h ライフセーバーと海で遊ぼう！ ～事後アンケートの結果と総括～

「ライフセーバーと遊ぼう」総括

はじめに、今回の企画は1年を通じて海に足を運ぶ機会をつくることを目的に繁忙期の夏ではなく、冬の12月を実施致しました。実施場所は千葉県館山市大賀海岸にて実施致しました。内容は必須参加の事前ガイダンス「Water safety」プログラム。館山市大賀海岸では、ニッパーボード・スタンドアップパドル・ビーチアクティビティの3つのアクティビティを体験。また、夜の時間には命の大切さを知るために心肺蘇生の重要性を知る体験をしてこの企画の質を高めています。

スタッフの構成は、サポートにジュニア指導者資格「リーダー」を取得した高校生ライフセーバーとベテランライフセーバーが責任者としてニッパーボード・スタンドアップパドル・ビーチスポーツを企画運営致しました。これにより、この企画はライフセーバーが支える企画となり、参加児童がライフセーバーたちと共に過ごす特別な企画になったと感じております。

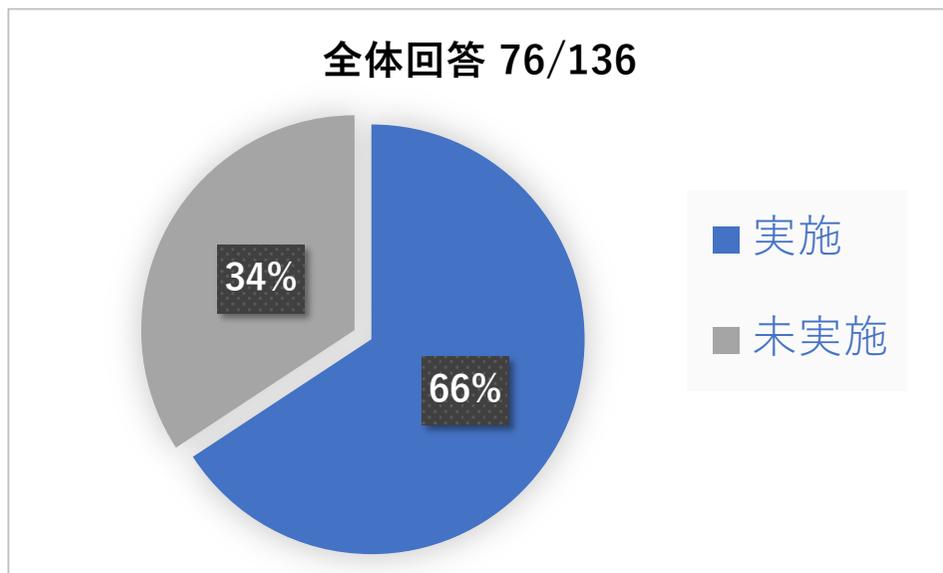
最後に、今回の企画に参加した児童や指導サポートスタッフとして参加した高校生たちが今回の経験をきっかけにして、年間を通じて海に足を運び自然と触れ合う生活を送り、自然環境を守る大人になって欲しいと強く願います。

学校教育推進委員会
企画担当責任者 島田貴史



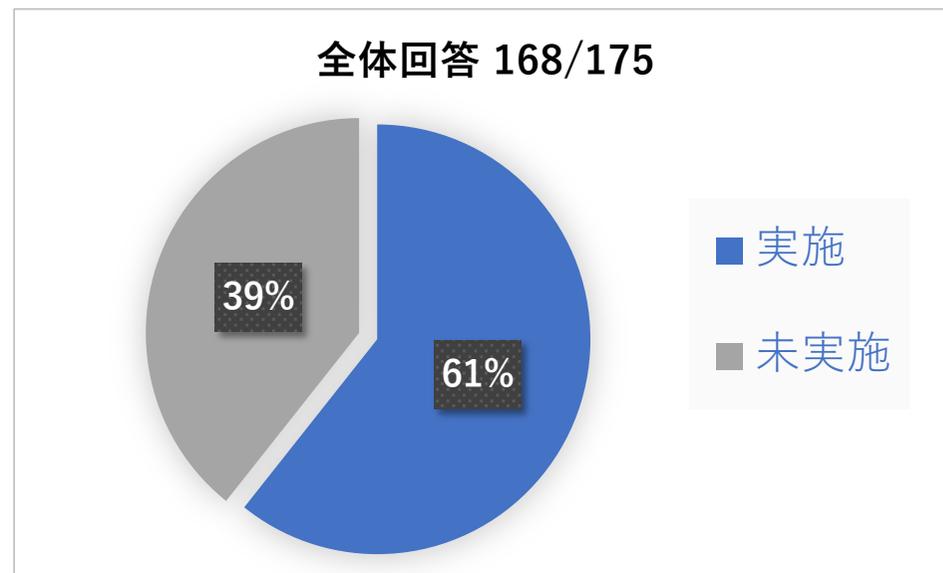
1-③a Jr.教育実施調査の回答状況 (2018→2024)

2018調査(N:76)



	実施	未実施
全体回答 76/136	50	26

2024年度プレ調査(N:168)

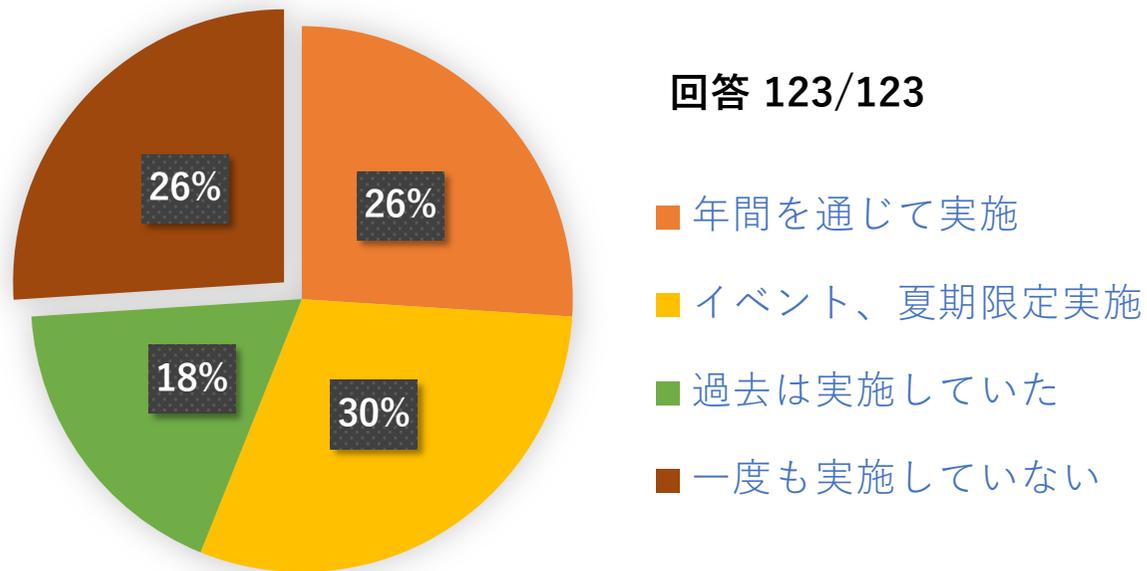


	実施	未実施
全体回答 168/175	102	66
*活動実績あり	78	クラブ
*活動実績 (過去含む)	102	クラブ



1-③b Jr.教育実施調査の回答状況（2018→2024）

2024ジュニア・ユース活動実態調査（地域クラブ） N:123



(内訳)

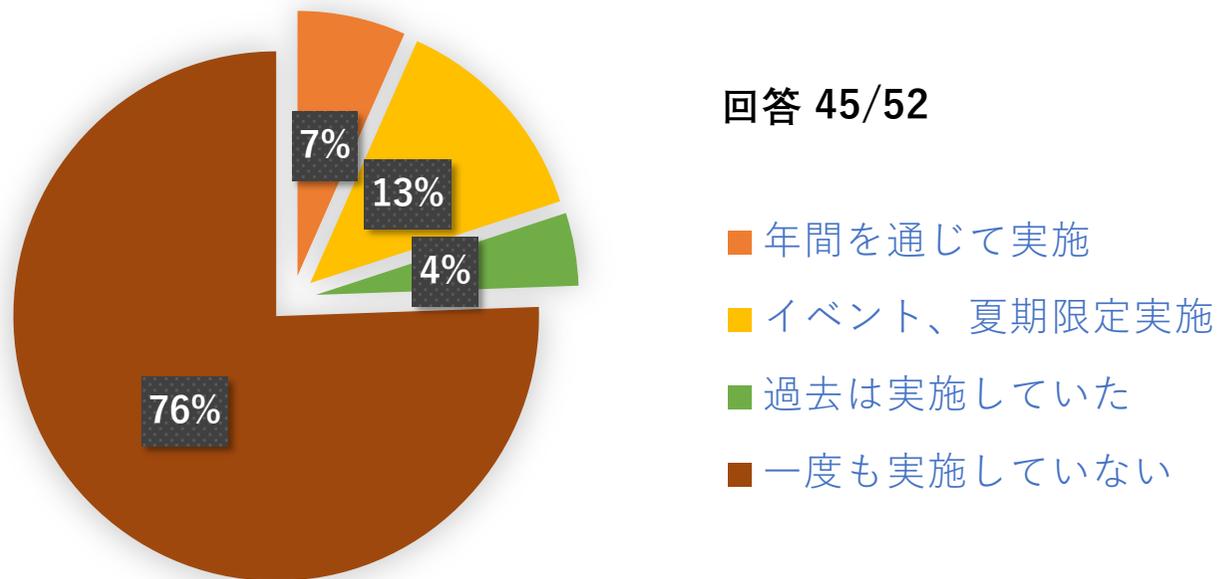
	年間を通じて実施	イベント、夏期限定実施	過去は実施していた	一度も実施していない
地域回答 123/123	32	37	22	32

*宮崎県協会含む



1-③c Jr.教育実施調査の回答状況（2018→2024）

2024ジュニア・ユース活動実態調査（学校クラブ） N:45



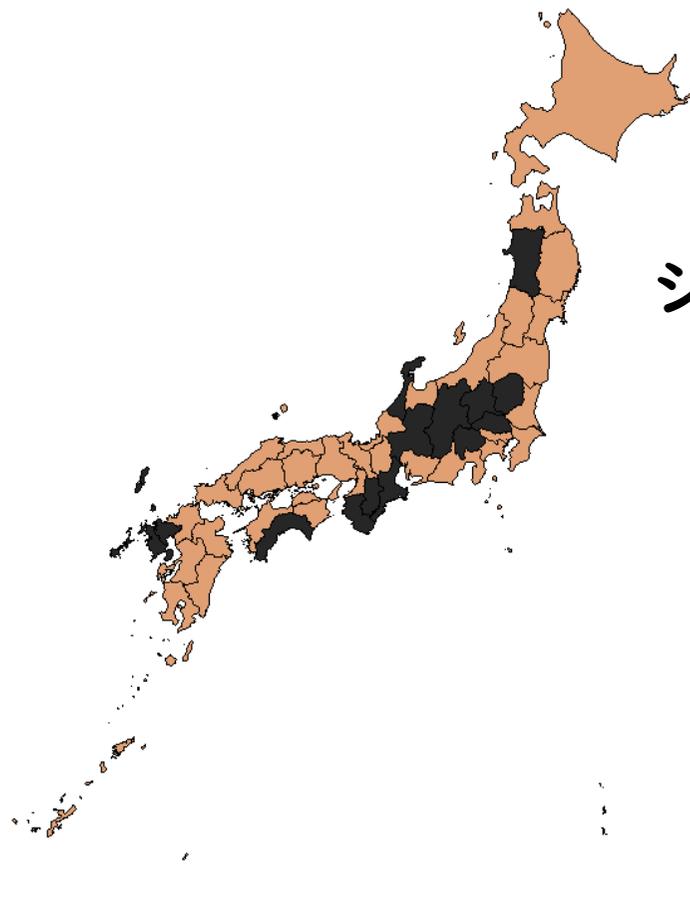
(内訳)

	年間を通じて実施	イベント、夏期限定実施	過去は実施していた	一度も実施していない
学校回答 45/52	3	6	2	34



1-③d Jr.教育実施調査の回答状況 (2018→2024)

2024ジュニア・ユース活動エリアマップ ※過去実施エリア含む



ジュニア教育活動実態調査

33 (2007) → 50 (2018) → **78 (2024)**
102 (過去実施クラブ含む)
↓
175 (2031)



1-③c Jr.教育実施調査の回答状況（2018→2024）

都道府県別：Jr.教育実施状況の推移



次回本調査に向けて

- 前回の調査結果と比べ、ジュニアライフセービングの実施率・数は大幅に増加した。→実施内容も多様化している？
- 学校クラブでのジュニアの実施は、教育機関が学生クラブに委託しづらいなどの課題もあると考える。→学生の海水浴場での活動はまた別としてある。一方学校が取り組みづらい課題をとらえる。
- 海がない都道府県へのアプローチをどのようにするかについては、計画中である。→長期的な調査の課題
- 102のクラブがジュニアライフセービングを実施している。実施数は増えたものの、その内容や質については十分に把握できていない。→実施内容やその効果検証を今後進めていく
- 幼少期からのライフセービングにおける重要な内容を今後検討し、年齢・発達に応じた指導の内容を提案する必要がある。→年齢別プログラムや、地域動向の把握を進める
- 指導者の実態についても今後検討が必要である。JLAが推奨するリーダー資格の普及と並行して行う必要がある。→取得資格の調査
- 指導内容における地域の実態も考慮する必要があると考える。東北地域は津波や災害が重視される一方、関東圏は離岸流など。→地域別の実施傾向や、文化背景に配慮したニーズの把握



1-③e Jr.教育実施調査の回答状況（2018→2024）

考察と今後の課題

- 前回の調査結果と比べ、ジュニアライフセービングの実施率・数は大幅に増加した。幼少期からの水辺の安全に関わる経験は貴重である。
- 学校クラブでのジュニアの実施は、教育機関が学生クラブに委託しづらいなどの課題もあると考える。
- 海がない都道府県へのアプローチをどのようにするかについては、計画中である。
- 102のクラブがジュニアライフセービングを実施している。実施数は増えたものの、その内容や質については十分に把握できていない。
- 幼少期からのライフセービングにおける重要な内容を今後検討し、年齢・発達に応じた指導の内容を提案する必要がある。
- 指導者の実態についても今後検討が必要である。JLAが推奨するリーダ資格の普及と並行して行う必要がある。
- 指導内容における地域の実態も考慮する必要があると考える。東北地域は津波や災害が重視される一方、関東圏は離岸流など。

2. eラーニング新規コンテンツの制作と展開

2-① 2024年度に制作したもの

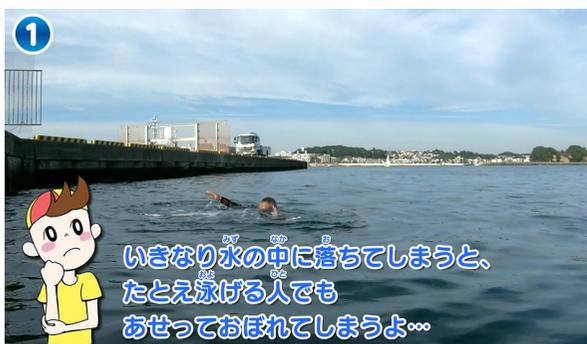
「海のそなえ」水難事故に関する調査サマリーの結果を基に、マリネジャーでの事故の約1/3を占める「釣り」と、その対象になりやすい高齢者のアクシデントをテーマとした動画を制作した。

「釣りのスタイルを考える」「万がーの時はどうしたら良いか」のテーマに対し、それぞれ3つのケースを示し、比較をしながら、考えていく仕組み。

**みんなで考えよう!
「釣り中の事故多発!」**



2-①a みんなで考えよう！「釣り中の事故多発！」安全なスタイルは？ New!



ライフジャケットを身に付けていることが大切！

万が一、水に落ちてしまっても...



ライフジャケットを身に付けていなかったり、正しく着ていなかったりすると...



事故を未然に防ぐことを考えよう！

2-1b みんなで考えよう！「釣り中の事故多発！」万が一の時には… *New!*



自分だったらどうするか考えてみよう！



- ①飛び込んで助けに行く
- ②釣り竿で助ける
- ③ひも付きバケツで助ける

2-1c みんなで考えよう！「釣り中の事故多発！」万が一の時には…

New!



①飛び込んで助けに行く
2人とも溺れてしまい、とても危険



②釣り竿で助ける
釣り竿が届けば安全に助けることができる



ライフジャケットを正しく着ることが重要！



③ひも付きバケツで助ける
離れていても安全に助けることができる

2-②a 動画で学ぼう！「プールでのウォーターセーフティ」

New!

学校の先生やスイミングクラブの指導者向けに制作した研修動画。
 ウォーターセーフティにおける実技の取り扱い内容、指導上の留意点や声かけ等、実践形式で分かりやすく解説。

動画で学ぼう！
 「プールでのウォーターセーフティ」



2-②b 動画で学ぼう！「プールでのウォーターセーフティ」^{New!}

浮くための活動

指導内容を3つに分類

プールでのウォーターセーフティ

う りんどう 浮く運動	かつよう しかた ライフジャケットの活用の仕方	いふく みず お ばあ い たいしょ しかた 衣服のまま水に落ちた場合の対処の仕方
----------------	----------------------------	--

子ども達に意識させたいポイント



パディシステム



指導者が意識してほしいポイント



2-②c 動画で学ぼう！「プールでのウォーターセーフティ」

New!

浮くための活動

6 プールでのウォーターセーフティ

う りんどう 浮く運動

ライフジャケットの活用の仕方

いふく みず お ばあい たいしよ しかた
衣服のまま水に落ちた場合の対処の仕方



はじめに



パディシステム



なに み つ う
何も身に付けずに浮く



ふりよく つか う
浮力を使って浮く



びん ばん
ビート板クルージング



ボディローテーション



エレメンタリーバックストローク
(イカ泳ぎ)

浮くためのポイント



指導上の留意点



水中での動きの可視化



2-②d 動画で学ぼう！「プールでのウォーターセーフティ」 New!

ライフジャケットを身に付けての活動

6 プールでのウォーターセーフティ

う りんどう
浮く運動

ライフジャケットを身に付ける

かつよろ しかた
ライフジャケットの活用の仕方

ライフジャケットで浮く

いふく みず お ばあい たいしよ しかた
衣服のまま水に落ちた場合の対処の仕方

ライフジャケットを身に付けてのボディローテーション

ひとり たす ま ぼうぼう
一人で助けを待つ方法

みんなで助けを待つ方法

プールサイドからの落水

指導の注意事項

※うつ伏せのまま戻れないことがないように
指導者、監視役は十分注意する

らくすい
落水からのエレメンタリー
およ
バックストローク（イカ泳ぎ）

指導の進め方



指導のポイント



2-②e 動画で学ぼう！「プールでのウォーターセーフティ」

New!

水着のときとの違いを感じるプログラム

着衣での活動

6 プールでのウォーターセーフティ

う りんどう 浮く運動	かつよう しかた ライフジャケットの活用の仕方	いふく あず お ばあい たいしょ しかた 衣服のまま水に落ちた場合の対処の仕方
----------------	----------------------------	---

ちやくい う
着衣で浮く

ちやくい およ
着衣で泳ぐ

ちやくい らくすい とま たいおう
着衣で落水してしまった時の対応

着衣で浮く



着衣で水に落ちてしまったときの対応



水面からの映像、水中での映像を通して、子ども達の体の動きや使い方を可視化

着衣で泳ぐ

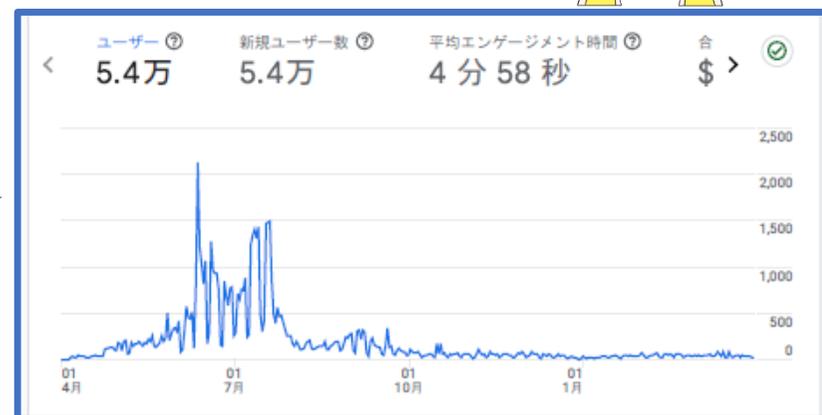
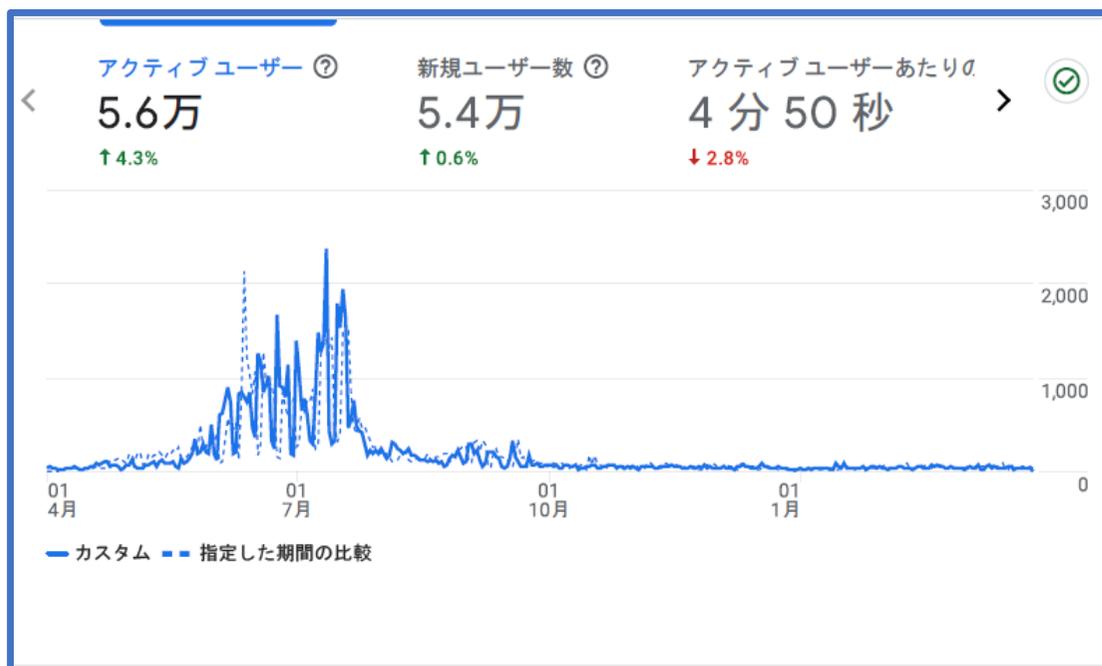


着衣での活動のポイント

2-③a 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析



期間 令和6年4月1日から令和7年3月26日



参考：2023年度アクセス解析

◆教育本部考察

アクティブユーザー数は56,028人で、前年より4.3%増加した。また、新規ユーザー数は54,210人で、わずかながら前年より0.6%増加している。これはサイトの認知度が向上し、より多くのユーザーが利用するようになった結果だと推測される。ユーザーあたりの滞在時間は4分50秒で、前年より2.8%減少した。これはユーザーによる運用の定着により、必要な情報の場所を認知しやすくなっているものと考えられる。

イベント数は1,422,656回で、前年より0.8%増加しており、ユーザーがサイト内で積極的に活用していることがうかがえる。特にスクロールが40%増加していることから、ユーザーがページを細部まで閲覧していることが分かる。ページビュー（PV）は595,202回で、前年より4.2%減少した。これは、ユーザーが特定のページに集中しているか、サイト内のナビゲーションが改善された結果だと考えられる。サイトの認知度向上とユーザーの活発な活用が見られるものの、さらなる普及を目指したい。今回のコンテンツ更新は、特に指導者にとって、より分かりやすく子どもたちに伝える方法を提供できたことにより、今後のウォーターセーフティの実践的展開が期待される。

2-③b 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

レポートのスナップショット

セッションマ (セッションのメインのチャネル...)

セッションのメインのチャ...	セッション
Direct	4.3万 ↑30.0%
Referral	2.2万 ↓35.1%
Organic Search	1.6万 ↑8.9%
Organic Social	2,277 ↓3.6%
Unassigned	387 ↑17.6%
Organic Video	23 ↑27.8%

[トラフィック獲得レポートを表示 →](#)

表示回数 (ページタイトルとスクリーンク...)

ページタイトルとスクリー...	表示回数
<クイズ!>水辺の安全つ...	652 ↓99.6%
守ろう!いのち学び合おう...	6.7万 ↓5.4%
動画で学ぼう! 守ろう!い...	5.1万 ↓15.0%
<事前学習>プール編 プー...	4.4万 ↓13.1%
<クイズ!>水辺の安全つ...	97 ↑121,016.9%
<クイズ!>水辺の安全つ...	8.5万 ↑20,285.0%
<クイズ!>水辺の安全つ...	226 ↓99.7%

[ページとスクリーンを表示 →](#)

イベント数 (イベント名)

イベント名	イベント数
page_view	60万 ↓4.2%
user_engagement	54万 ↓0.4%
scro...	14万 ↑40.0%
session_start	8.5万 ↑0.3%
first_visit	5.4万 ↑0.6%
file_download	5,794 ↓6.2%
click	4,021 ↓9.5%

[イベントを表示 →](#)

アクティブユーザー (ブラウザ)

● 期間を指定 ● 指定した期間の比較

[ブラウザを表示 →](#)

新規ユーザーの参照元

新規ユーザー数 (ユーザーの最初のメインのチャネルグループ (デフォルトチャネルグ...))

● 期間を指定 ● 指定した期間の比較

[ユーザー獲得レポートを表示 →](#)

新規ユーザー数 (ユーザーの最初の参照元 / メデ...)

ユーザーの最初の参照元 / ...	新規ユーザー数
(direct) / (none)	2.9万 ↑34.3%
kids.yahoo.co.jp / referral	7,262 ↓32.3%
google / organic	7,222 ↑7.7%
classroom.google.com / refe...	2,969 ↓61.8%
bing / organic	1,220 ↑5.8%
gakkokyoiku.gakken.co.jp / r...	1,320 ↑33.9%
t.co / referral	1,056 ↓13.8%

[ユーザー獲得レポートを表示 →](#)

アクティブユーザー (デバイスモデル)

デバイスモデル	アクティブユーザー
ChromeBook	1.2万 ↓10.8%
Safari	9,929 ↓11.0%
Edge	9,857 ↓7.2%
iPhone	9,164 ↑10.4%
Chrome	5,752 ↑5.2%
iPad	1,262 ↓15.8%
Firefox	224 ↓57.2%

[デバイスのモデルを表示 →](#)

アクティブユーザー (プラットフォーム / デバイスカテ...)

プラットフォーム / デバイ...	アクティブユーザー
web / desktop	4.1万 ↑0.8%
web / mobile	1.3万 ↑16.9%
web / tablet	1,552 ↓12.5%
web / smart tv	2 -

[プラットフォーム デバイスを表示 →](#)

2-③c 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

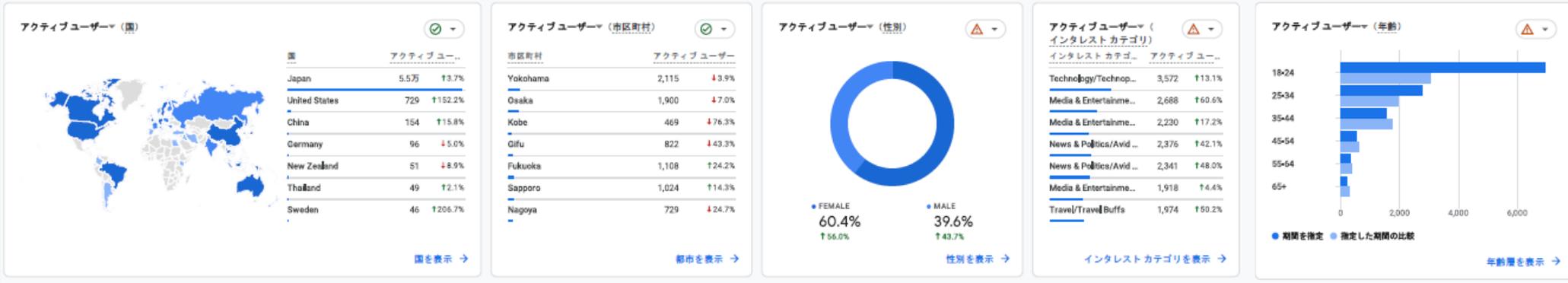
ユーザー属性の概要

参考：2023年度アクセス解析



ユーザー属性の概要

2024年度アクセス解析



2-③d 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析



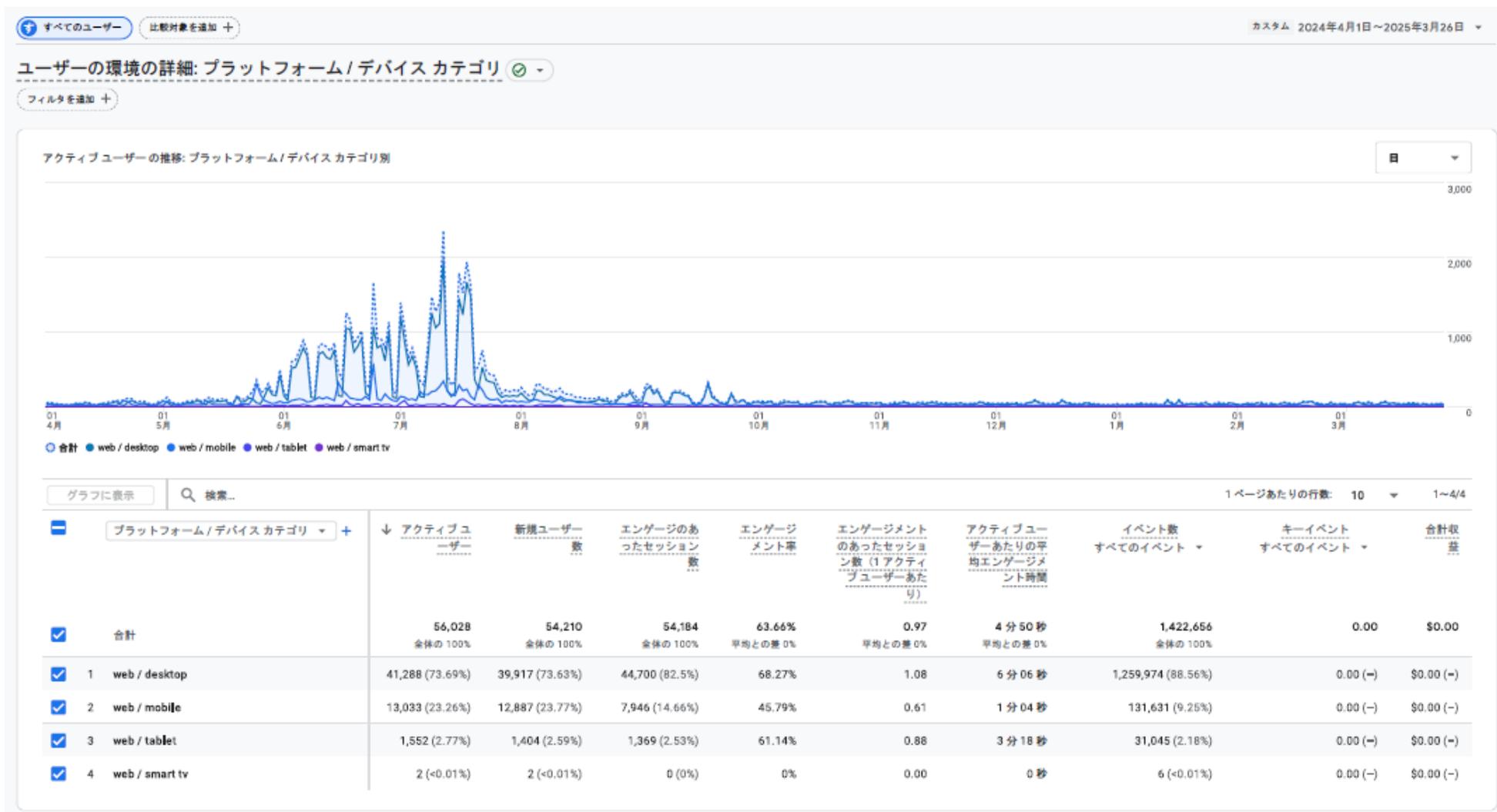
2-③e 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析



4	/videos/save.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	19,950 (3.35%)	9,746 (17.39%)	2.05	1分23秒	50,746 (3.57%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	24,232 (3.9%)	12,396 (23.07%)	1.95	46秒	62,832 (4.45%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-17.67%	-21.38%	4.71%	78.46%	-19.24%	0%	0%
5	/pre-learning/tool.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	19,238 (3.23%)	9,009 (16.08%)	2.14	1分24秒	38,797 (2.73%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	23,101 (3.72%)	10,408 (19.37%)	2.22	1分48秒	46,144 (3.27%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-16.72%	-13.44%	-3.79%	-22.22%	-15.92%	0%	0%
6	/pre-learning/index.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	16,775 (2.82%)	7,147 (12.76%)	2.35	2分14秒	37,318 (2.62%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	20,613 (3.32%)	8,681 (16.15%)	2.37	2分38秒	45,680 (3.24%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-18.62%	-17.67%	-1.15%	-15.41%	-18.31%	0%	0%
7	/videos/							
	2024年4月1日～2025年3月26日	14,228 (2.39%)	7,439 (13.28%)	1.91	56秒	35,773 (2.51%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	16,629 (2.68%)	8,161 (15.19%)	2.04	33秒	37,162 (2.63%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-14.44%	-8.85%	-6.13%	67.62%	-3.74%	0%	0%
8	/pre-learning/pool-movie.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	14,121 (2.37%)	8,355 (14.91%)	1.69	59秒	30,549 (2.15%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	17,114 (2.76%)	9,317 (17.34%)	1.84	29秒	36,472 (2.58%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-17.49%	-10.33%	-7.99%	103.73%	-16.24%	0%	0%
9	/pre-learning/sea.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	12,760 (2.14%)	6,812 (12.16%)	1.87	2分45秒	31,733 (2.23%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	11,607 (1.87%)	6,263 (11.66%)	1.85	2分36秒	26,370 (1.87%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	9.93%	8.77%	1.07%	5.52%	20.34%	0%	0%
10	/videos/help.html							
	2024年4月1日～2025年3月26日	10,895 (1.83%)	5,770 (10.3%)	1.89	51秒	23,777 (1.67%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	2023年4月1日～2024年3月26日	12,371 (1.99%)	6,613 (12.31%)	1.87	32秒	26,001 (1.84%)	0.00 (-)	\$0.00 (-)
	% change	-11.93%	-12.75%	0.94%	58.76%	-8.55%	0%	0%



2-③f 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析



2-③g 2024年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

令和6年度 e-Lifesaving アクセス解析

期間 令和6年4月1日から令和7年3月26日

■全体概要

アクティブユーザー 56,028 4.3%増加

新規ユーザー 54,210 0.6%増加

ユーザーあたりの滞在時間 4分50秒 2.8%減少

イベント数 1,422,656 0.8%増加

・PV 595,202 4.2%減少

・スクロール 40%増加

■参照元

ダイレクト（ブックマークなど）34%増

オーガニック検索 7.7%増

※Google検索で上位に表示されないので、検索経路は不明
学研が増加 34%

Yahoo!キッズ（32%減）、Googleクラスルーム（62%減）は大幅減少

その他、リファラルは減少

■訪問ページ

クイズ関連コンテンツへのPVが増加傾向

■ユーザーのデバイス

iPhone、モバイルからの訪問が増加傾向

◆今後の課題

参照元の変化として、ダイレクト（ブックマークなど）からのアクセスが34%増加し、オーガニック検索からのアクセスも7.7%増加しているが、Yahoo!キッズとGoogleクラスルームからのアクセスは大幅に減少している。この減少は、検索エンジンのアルゴリズム変更や、特定の参照元の人気低下が影響していると考えられる。この状況を踏まえ、検索エンジンでサイトが見つけやすくなるように、サイトの内容や構造を改善することや、SNSや他の教育関連サイトとの連携強化が重要である。さらに、コンテンツの多様化やターゲット層の再設定を行うことで、参照元の変動に柔軟に対応し、アクセスの安定化を図る必要がある。これらの取り組みにより、新たな参照元からの流入を促進し、より多くのユーザーにアクセスしてもらう施策が求められる。

訪問ページの傾向として、クイズ関連コンテンツへのページビュー（PV）が増加していることから、ユーザーがインタラクティブなコンテンツを好んでいることが分かる。また、デバイスの使用状況を見ると、iPhoneやモバイルからの訪問が増加しており、モバイルフレンドリーなサイト設計が重要であることが示されている。

3. eラーニングシステムの広報啓発の強化

3-①a Water Safety啓発 e-Lifesaving PR 『海のそなえ』 動画制作公開実施報告



『海のそなえ』 ～水難事故は防止できる! パトちゃんと3つのクイズに挑戦～

全国1万人アンケートからわかった“溺れ”の実態を理解し、具体的な“そなえという心構えと行動”を身に付けよう! このお絵かきムービーでは、全国1万人アンケートで見えてきた3つの特徴をクイズにしています。水難事故は、子どもから大人までひとりひとりの水辺の安全に関する知識と行動で防止できます。3つのクイズに挑戦しながら、子どもと水辺に遊びに行く保護者の皆さんに、どうすれば水辺で安全に過ごすことができるのか、気づいていただけるきっかけになることを期待しています。今回の動画はお絵かきクリエイターの荒巻なおみさんに制作いただきました。「e-Lifesaving」に登場するキャラクターのパトちゃんを、お絵かきでイキイキと動かしながら、“溺れ”の実態と水難事故防止についてイラストで表現してくれました。保護者の方とお子さんが一緒に見やすいように構成されている温かいタッチの素敵な作品となっております。是非、たくさんの方に見ていただき、「水辺の事故ゼロ」を目指すとともに、海辺で安全に楽しく過ごす人々が増えることを願います。

Q1 海水浴場の水難事故は何時が最も多い?



※「日本財団 海のそなえプロジェクト」水難事故に関する調査結果より

Q2 溺れたことがある人のうち最も多い泳力は?



※「日本財団 海のそなえプロジェクト」水難事故に関する調査結果より

Q3 日本の海水浴場でキケンなのは?



※「日本財団 海のそなえプロジェクト」水難事故に関する調査結果より



3-①b Water Safety啓発 e-Lifesaving PR 『海のそなえ』 動画制作公開実施報告

YouTube

『海のそなえ』～水難事故は防止できる！
パトちゃんと3つのクイズに挑戦～

公開日：2024年11月4日公開
 視聴回数 441回 高評価15
 総再生時間 14.3時間(動画は5分)
 インプレッション 1万
 (動画サムネイルが視聴者に表示された合計回数)

ポイント

- PR TIMESでリリースした結果、そこからの流入視聴が視聴流入第2位だった。(第1位はJLAサイトからの流入)



Instagram

『海のそなえ』水難事故は防止できる！
パトちゃんと3つのクイズに挑戦





3-②a JLA広報室・2024年度 Instagram

Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

2024年度Instagram 6~9月 実施概要

JLA広報室

4.5.6月 企画立案・撮影・編集

- ▼CMクリエイターさん、撮影監督さんとの打合せ
- ▼動画内容決定、楽曲編集、撮影地ロケハン
- ▼キャスティング、小道具準備、香盤表確定
- ▼6月20日 松田丈志様撮影
- ▼編集

7月 動画公開

	第1弾公開 7月7日(日) #1 海行こうぜ! 「知ってみよう!」	第2弾公開 7月14日(日) #2 海行こうぜ! 「身につけよう!」	第3弾公開 7月22日(月) #3 海行こうぜ! 「やってみよう!」	6,7,8,9の平均
リーチ数	21,262	5,537	2,711	3,466
いいね	361	132	109	150
再生数	32,666	8,476	5,571	14,920
シェア数	53	10	6	7
フォロワー以外の閲覧	86.10%	63,10%	34,20%	32%
エンゲージメント	436	147	116	163
インプレッション	27,432	6,223	3,587	5,051

3-②b JLA広報室・2024年度 Instagram Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

第1弾公開 7月 7日 (日) #1 海行こうぜ! 「知ってみよう!」

JLA広報室



リーチ数 ①

リーチしたアカウント数	2.1万
フォロワー	13.9%
フォロワー以外	86.1%

再生数	3.2万
初回の再生	2.5万
リプレイ数	7188

再生時間	46時間57分4秒
平均再生時間	6秒

インタラクション ①

リールでのインタラクション	0
♡ 「いいね!」	363
💬 コメント	0
🔖 保存数	22
📤 シェア数	0

プロフィール ①

プロフィールのアクティビティ	10
フォロワー数	10

3-②c JLA広報室・2024年度 Instagram

Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

第2弾公開 7月 14日 (日) #2 海行こうぜ! 「身につけよう!」

JLA広報室



リーチ数 ①

リーチしたアカウント数	5614
フォロワー	36.8%
フォロワー以外	63.2%

再生数	8568
初回の再生	6224
リプレイ数	2344

再生時間	11時間50分34秒
平均再生時間	6秒

インタラクション ①

リールでのインタラクション	0
♡ 「いいね!」	133
🗨️ コメント	0
🔖 保存数	5
📁 シェア数	0

プロフィール ①

プロフィールのアクティビティ	4
フォロワー数	4

3-②d JLA広報室・2024年度 Instagram Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

第3弾公開 7月 22日 (月) #3 海行こうぜ! 「やってみよう！」

JLA広報室



リーチ数 ①

リーチしたアカウント数	2823
フォロワー	64.8%
フォロワー以外	35.2%

再生数	5719
初回の再生	3597
リプレイ数	2122

再生時間	8時間43分1秒
平均再生時間	8秒

インタラクション ①

リールでのインタラクション	0
♡ 「いいね！」	111
🗨 コメント	0
🔖 保存数	1
📁 シェア数	0

プロフィール ①

プロフィールのアクティビティ	2
フォロワー数	2

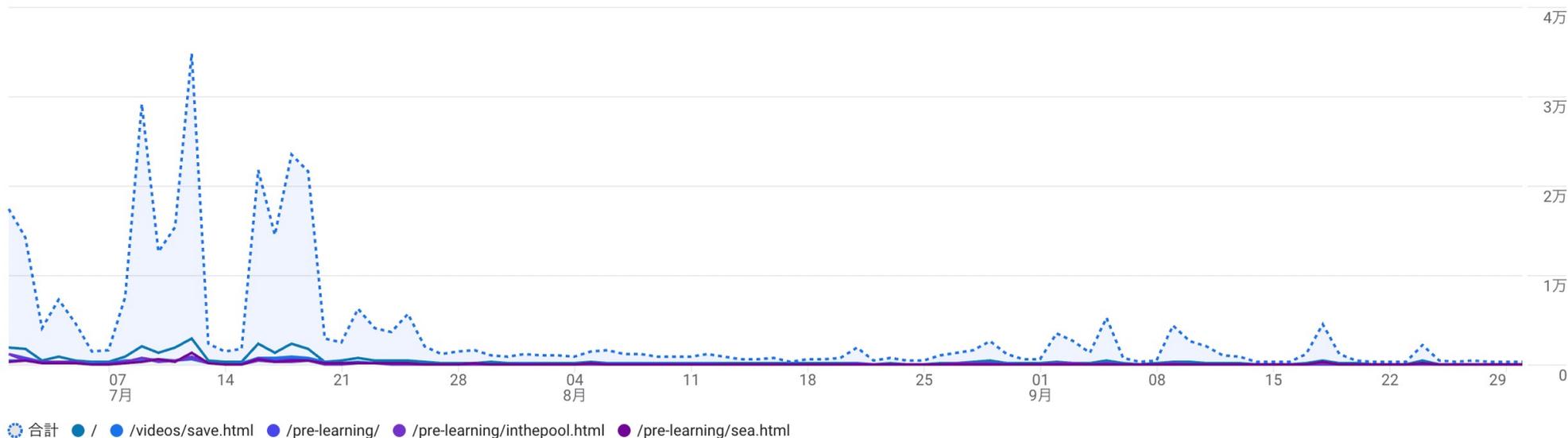


3-②e JLA広報室・2024年度 Instagram

Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

e-Lifesaving のアクセス解析(7,8,9月の前年比較)

JLA広報室



検索...

1 ページあたりの行数: 10 移動: 1 < 1~10/343 >

ページパスとスクリーン クラス +

すべての行を表示

合計

表示回数	アクティブ ユーザー	アクティブ ユーザーあたりのビュー	アクティブ ユーザーあたりの平均エンゲージメント時間	イベント数 すべてのイベント	キーイベント すべてのイベント
339,170 297,574 との比較 ↑ 13.98%	28,837 26,103 との比較 ↑ 10.47%	11.76 11.40 との比較 ↑ 3.17%	4 分 47 秒 4 分 32 秒 との比較 ↑ 5.47%	802,350 678,873 との比較 ↑ 18.19%	0 0.00 との比較



3-②f JLA広報室・2024年度 Instagram

Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開実施報告

Water Safety啓発 e-Lifesaving PR SNS用縦型動画制作公開 実施総括

JLA広報室

背景

ターゲットとして10~20代、および小さいお子さんを持つ若い親に対して、携帯でSNSを見るシチュエーションを意識して作成

SNS視聴だけでもWater Safety啓発につながり、さらにはe-Lifesavingへの流入を期待するために作成した。

水に関わる著名な方として、元競泳日本代表の松田丈史さんをキャスティングし、フォロワー以外の視聴効果を狙った。

結果と考察

すべてのアクセス状況は、平均を上回った。特に初回動画は6~9月の76投稿のうち閲覧数1位で、年間通じてもダントツの1位であり、再生数3,2万回、フォロワー以外のアクセスが86%であった。松田丈史さんが自身のSNSでシェアしてくださったことも大きな要因と言える。

e-Lifesavingのアクセスも前年より微増しており、一定の影響はあったと推測する。

YouTubeやホームページへの流入きっかけに、SNSの投稿はとても有効なことは周知であるが、やはり動画で投稿することの効果は、平均インサイトとの比較でもあきらかである。

4. 指導員養成及びサポーター講習

※事業目標2-(3)に関連

4-① 各種指導員養成講習会の開催・実施

- (1) 時期：2024年4月～2025年3月
- (2) 場所：東京、茨城、神奈川、静岡、大阪、広島、福岡、佐賀、沖縄
- (3) 受講者 128(105)名、内合格者 89(96)名 ※()内の数字は2023年度実績
 - BLS指導員養成講習会 27(44)名
 - ウォーターセーフティ指導員養成講習会 32(23)名
 - サーフライフセービング指導員養成講習会 22(7)名
 - プールライフガード指導員養成講習会 0(5)名
※開催無し
 - IRB指導員養成講習会 5(3)名
 - PWRC指導員養成講習会 0(8)名
※開催無し
 - ジュニアライフセービング指導員養成講習会 3(6)名☆合計 89(96)名
- (4) 内容：
 - a. 学科（JLA指導員とは、指導法）
 - b. 実技（学科指導、実技指導、デモンストレーション）
 - c. 学科および実技試験
 - d. 面接試験





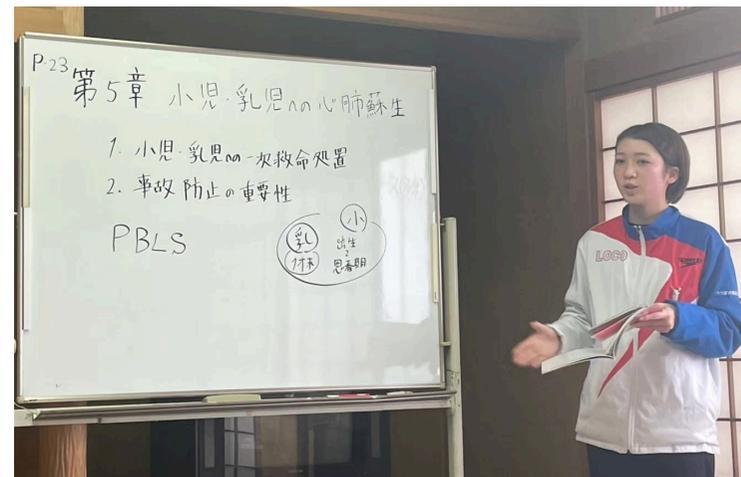
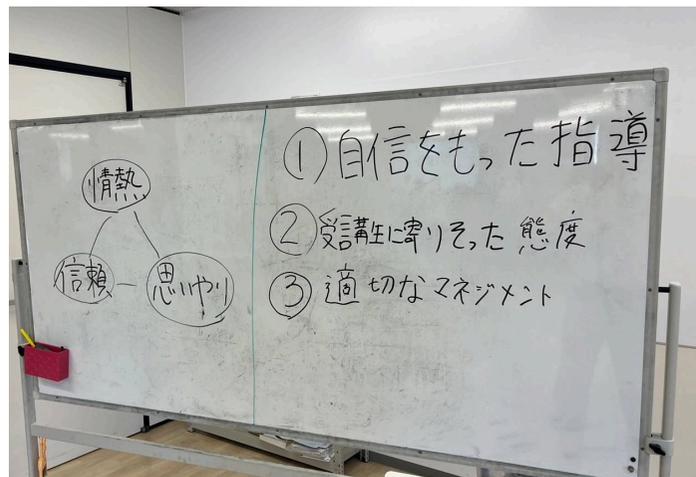
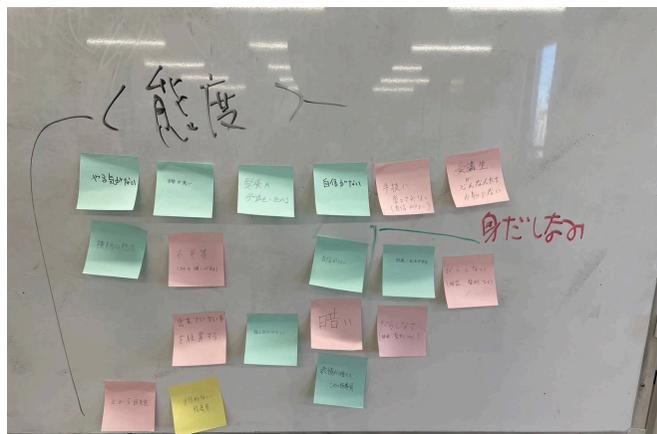
4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【BLS指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2024年	11月23、24、12月7、8日	9:00~17:00	東京医薬看護専門学校 (東京都江戸川区)	16	5
2025年	1月10、11、12、13日	9:00~17:00	北谷町メディアステーション (沖縄県中頭郡北谷町)	8	5
2025年	1月18、19、25、26日	9:00~17:00	マリンビル (静岡県静岡市)	17	11
2025年	1月25、26、2月1、2日	9:00~17:00	そぴあしんぐう (福岡県糟屋郡新宮町)	4	2
2025年	2月8、9、22、23日	9:00~17:00	大阪ハイテクノロジー専門学校 (大阪府大阪市淀川区)	8	4
			合計	53	27

4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《BLS指導員養成講習会の様子》



4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《BLS指導員養成講習会の様子》





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【ウォーターセーフティ指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2024年	4月27、28日	9:00~17:00	流通経済大学 (茨城県龍ケ崎市)	4	4
2024年	12月14、15日	10:00~18:00	東京都立駒場高等学校 (東京都目黒区)	6	6
2025年	1月25、26日	8:00~17:00	タピックタラソセンター宜野座 (沖縄県国頭郡)	11	7
2025年	2月10、11日	10:00~18:00	静岡県富士水泳場 (静岡県富士市)	10	10
2025年	3月15、16日	9:00~17:00	SAGAアクア (佐賀県佐賀市)	2	2
2025年	3月29、30日	9:00~17:00	スポーツクラブビッグラン (広島県福山市)	7	3
			合計	40	32

4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《ウォーターセーフティ指導員養成講習会の様子》





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《ウォーターセーフティ指導員養成講習会の様子》





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【サーフライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2024年	4月21、27、28、30日	9:00~17:00	相良海岸/相良ライフセービングハウス (静岡県牧之原市)	申込み 無し	申込み 無し
2024年	5月11、12、18、19日	9:00~17:00	三浦海岸/三浦市勤労市民センター (神奈川県三浦市)	13	11
2024年	11月9、10、16、17日	9:00~17:00	三浦大浦海岸/三浦市勤労市民センター (神奈川県三浦市)	7	4
2025年	2月7、8、9、10日	9:00~17:00	北谷公園サンセットビーチ/北谷町美浜ステーション (沖縄県中頭郡北谷町)	7	7
			合計	27	22

4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《サーフライフセービング指導員養成講習会の様子》





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《サーフライフセービング指導員養成講習会の様子》





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【プールライフガーディング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2024年	11月10、16、17日	9:00~17:00	オンライン(学科)/サンマリーンながの (長野県長野市)	申込み無し	
2025年	2月16、22、23日	9:00~17:00	オンライン(学科)/アクアブルー多摩 (東京都多摩市)	申込み無し	
			合計	0	



4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【IRB指導員養成講習会】

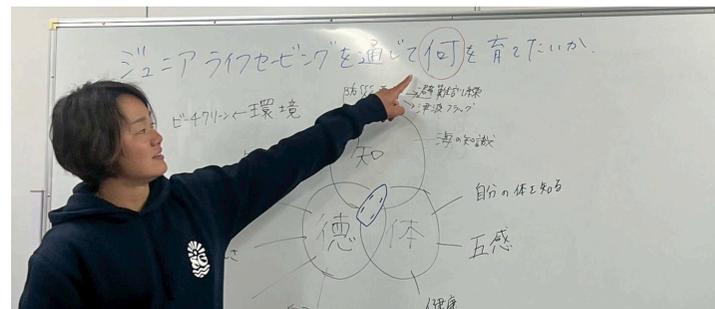
	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	3月29、30日	9:00~17:00	大竹海岸（茨城県銚田市）	5	3
			合計	5	3





【ジュニアライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	受講者	合格者
2025年	3月22、23日	9:00~17:00	ビジョンセンター浜松町（東京都港区）	3	3
			合計	3	3





4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

【フォローアップ研修会(既存指導員向け)】

	日程	時間	会場	参加者
2025年	1月10日(金)	15:00-17:00	北谷町美浜メディアステーション 沖縄中頭郡北谷町	9
2025年	1月18日(土)	16:00-18:00	マリンビル 静岡県静岡市清水区	5
2025年	1月25日(土)	15:00-17:00	そぴあしんぐう 福岡県糟屋郡新宮町	3
2025年	2月8日(土)	15:00-17:00	大阪ハイテクノロジー専門学校 第2校舎 大阪府大阪市淀川区	6
2025年	3月19日(水)	18:00-20:00	ビジョンセンター浜松町 東京都港区	12
2025年	3月23日(日)	10:00-12:00	東京医薬看護専門学校第4校舎 東京都江戸川区	9(16)
2025年	3月23日(日)	14:00-16:00	東京医薬看護専門学校第4校舎 東京都江戸川区	3(14)
			合計	47(30)

※()内の数字はオンラインによる参加者数

4-① 各種指導員養成講習会の開催実績

《フォローアップ研修会の様子》



4. 指導員養成及びサポーター講習

※事業目標2-(3)に関連

4-② ライフセービングサポーター講習会の開催・実施

- (1) 時期：2024年4月～2025年3月
- (2) 場所：教育機関施設（体育館・プール）、民間プール、海浜等
- (3) 参加者：16,641名（小中高校生、教職員、社会人）
- (4) 内容：
 - a. 心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置法（CPR、AED）
96か所、5,927名
 - b. ウォーターセーフティ
91か所 10,714名



4-② ライフセービングサポーター講習会の開催・実施

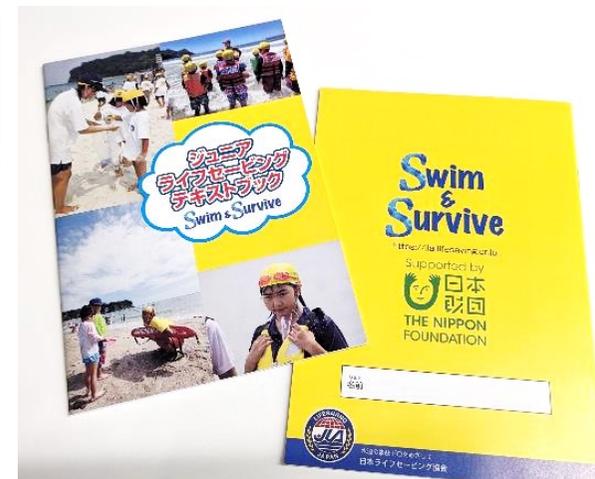
参加者への配布物



A4クリアファイル



講習会パンフレット

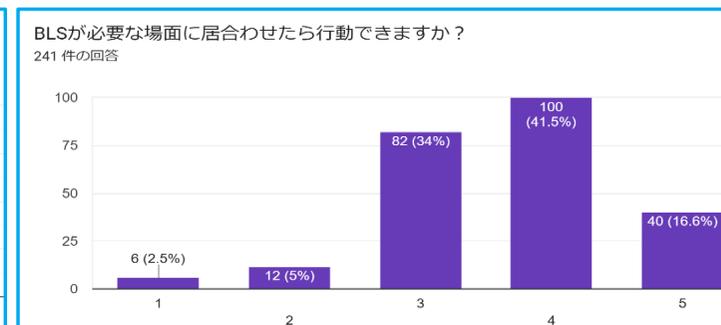
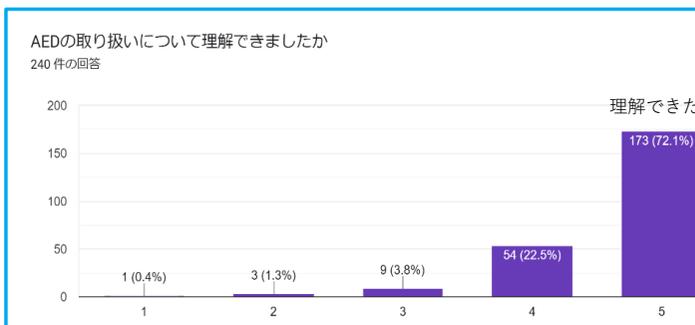
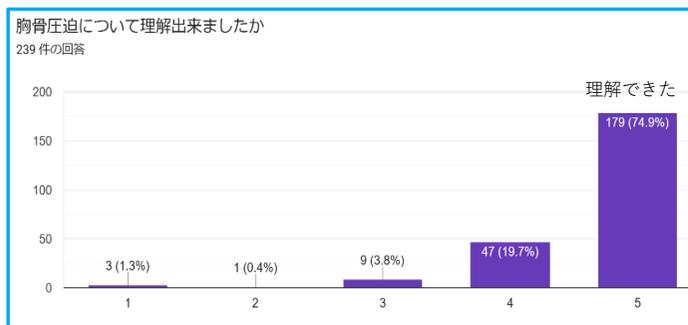
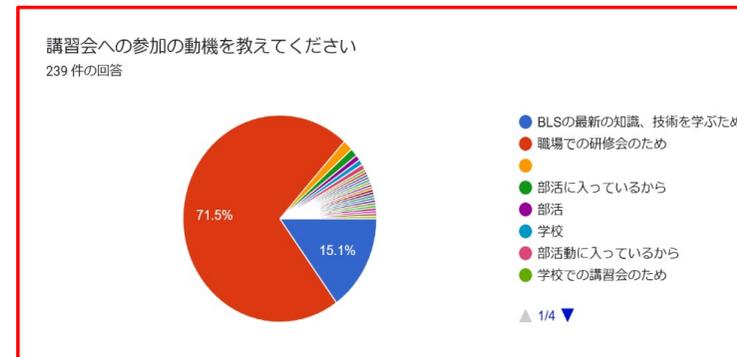
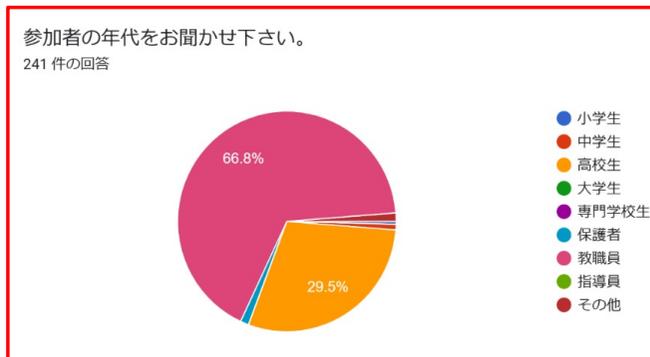


ジュニアライフセービングテキストブック

4-② ライフセービングサポーター講習会の開催・実施（BLS）

2024年度 参加者241名への
事後アンケートより

教職員の参加が66.8%、
職場研修や授業の一環として参加が最多。



【まとめ】

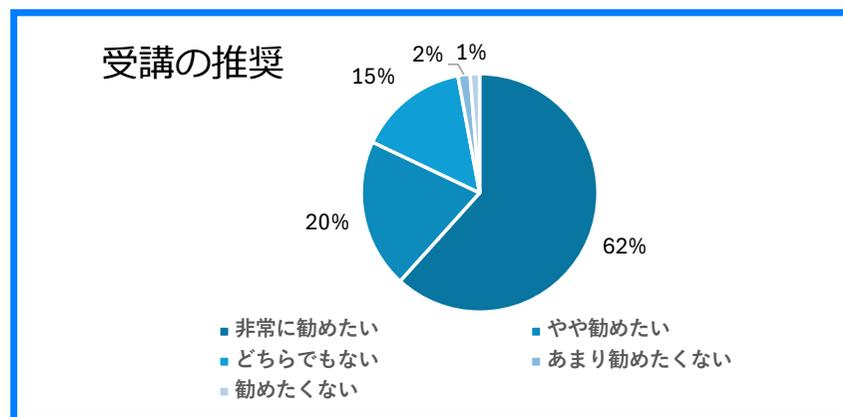
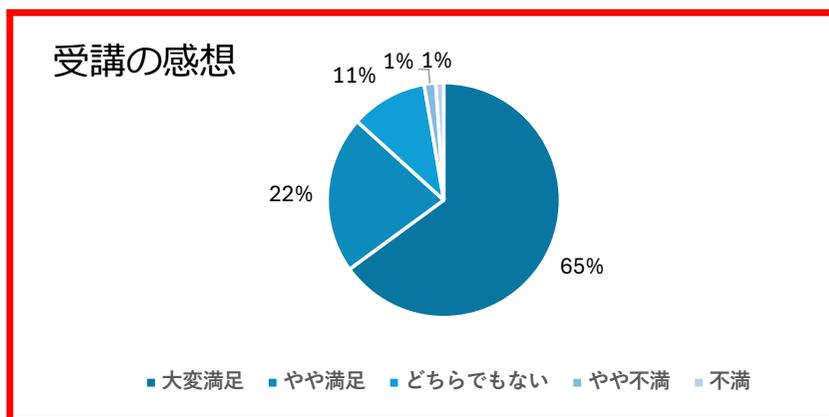
- 胸骨圧迫や基本的なAEDの取り扱いなどの基本技術に対する満足度は高い結果であった。
- 搬送や死戦期呼吸など現場に必要な関連知識や技術の伝達への関心も高かった。
- 有事の際に行動できるかの問いに対しては自信を持って行動できるが16.6%であり、より一次救命を担うには課題が残る。

【今後の課題】

- ライフセービングサポーター講習会からライフセービングに興味をつなげたり、我々の活動に賛同し、会員数の増加や他の資格取得を希望することにつなげたい。

4-③ ライフセービングサポーター講習会の開催・実施（WS）

2024年度の受講者数は1628名であった。小学生650名、中学生756名、教員96名、指導員97名、そのほか56名



80%以上の方が、受講に満足し、他者への受講を推奨している。

水辺で溺れないために1番重要だと思うこと

- | | | |
|----|-------------------------------------|------------|
| 1位 | あらかじめ水辺の危険な場所や状況、時間帯を知っていること | 451件、27.7% |
| 2位 | ライフジャケットの正しい着方を理解し、活用できる力を身につけていること | 330件、19.0% |
| 3位 | あらかじめ水辺の危険な場所や状況、時間帯を知っていること | 308件、18.9% |

受講後には、事前の備えや準備を重視する傾向にあった。